

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧下さい。次回1月の「てがたん」は1月11日(土)で「カモいろいろ」がテーマです。是非ご参加下さい。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは1月5日(日)です。4日(土)は休館日となりますので、日曜日に行います。なお、毎年1月に行っている来年度のテーマ決めは2月1日(土)の午後に行います。

12月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→手賀沼遊歩増→親水広場
- 観察日時/天気 2013年12月14日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 26名(一般22人、子ども4人)
- 市民スタッフ 11名(伊東茂子、岡廣志、蒲田知子、小泉伸夫、染谷迪夫、竹本周平、弘寛さと子、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、染谷実紀)

観察記録 — 12月のてがたんで観察した生き物リスト —

【鳥類】

カモ科：カルガモ、オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/
 サギ科：アオサギ、コサギ/クイナ科：バン、オオバン/カモメ科：セグロカモメ/タカ科：トビ/カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ/
 カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/メジロ科：メジロ/
 ヒタキ科：シロハラ、ジョウビタキ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ、オオジュリン/外来種や家禽：コバクチョウ、ドバト

【昆虫・クモ】

カメムシの仲間：ヨコヅナサシガメ/甲虫の仲間：テントウムシの仲間(種未確認)/カマキリの仲間：ハラビロカマキリ(卵鞘)

【花】

キク科：ハキダメギク、コセンダングサ、オオアレチノギク、ヒメジョオン、セイトカアワダチソウ、ノボロギク、チチコグサモドキ、ノゲシ、オニノゲシ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/シソ科：ホトケノザ/カタバミ科：カタバミ/ツバキ科：サザンカ(植栽)、ヤブツバキ(植栽)

【実】

アカネ科：ヘクソカズラ/モクセイ科：トウネズミモチ/カキノキ科：カキノキ/ヤブコウジ科：マンリョウ、ヤブコウジ/ウリ科：カラスウリ/
 モチノキ科：クロガネモチ/ウルシ科：ハゼノキ/ミカン科：ユズ/ユズリハ科：ユズリハ/マメ科：クズ、フジ/バラ科：トキワサンザシ/
 スズカケノキ科：アメリカスズカケノキ/ツバキ科：ツバキ、サカキ、ヒサカキ/マタタビ科：オニマタタビ(植栽)/センリョウ科：センリョウ/
 アケビ科：ムベ/クスノキ科：シロダモ、クスノキ/ニレ科：ムクノキ/ブナ科：シラカシ、コナラ、スダジイ/ヤシ科：シュロ/
 イネ科：ジュズダマ

12月の観察アルバム



今月の案内人：水上 香苗さん



今回のてがたんのテーマは「声でさがす林の冬鳥」でした。

鳥の地鳴きを復習してから観察会をスタートし、何種類の鳥を識別できるかチャレンジしました。耳をすましてみると、たくさんの鳥の声が聞こえました。林ではヒヨドリ、ヨシ原ではオオジュリンやスズメの声が目立ちました。



実はまだ鳥に食べられずに残っていたセンリョウ



オオイヌノフグリの花は、朝開いて夕方に閉じ、翌日また開いて午後に散る



ヒメジョオン(写真)はハルジオンと似るが蕾が垂れないことなどで区別できる



陽当たりの良い畦にはえていたセイヨウタンポポ



杭には並んだカワウの姿 繁殖期には頭と腰に白い羽が生じる

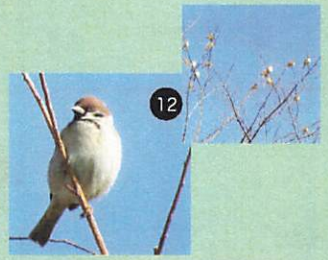


カラスウリ

カラスウリの果肉は甘味が無く、苦味がある。種子(写真右)はクロワッサンのような形をしている。



12月てがたんの観察生物とルート



スズメの群れ

観察会の間、何度かスズメの群れを見かけた。モズに追い払われた群れもあった。



エサを探しているコサギ



セイタカアワダチソウは越冬を前にしたミツバチの蜜源



ヨシ原からはオオジュリンの声が聞こえ姿も観察



木の高い位置についたハラビロカマキリの卵鞘(らんしょう)



シュロはヒヨドリなどが実を食べて種を運び、野生化が進んでいる

今月の鳥 オオジュリン

(スズメ目ホオジロ科) 全長：約 16 cm

オオジュリンは北海道と東北地方で繁殖し、冬は本州以南のヨシ原などで越冬します(特に関東以南に多い)。

オスの冬羽の頭部は褐色ですが、夏羽は頭部から喉にかけ黒くなります。これは羽の生えかわり(換羽)によるものではなく、冬羽の褐色部分が磨耗し、より内側にある黒い部分が現れることによるものです。

ヨシ原の地面や茎で餌をとります。落ちていた種子や、ヨシの茎をむいたり、はぎとったりして、中にあるカイガラムシなどを食べます。ヨシ原から「プチプチ」と乾いた音が聞こえてきたら、近くでオオジュリンが食事をしているかもしれません。



オオジュリン(冬羽)



カイガラムシ